

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号及び川内原子力発電所1，2号炉の地震等に係る新基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（35）（36）」

2. 日時：令和5年11月22日（水） 16時15分～17時50分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与

九州電力株式会社：テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部
執行役員 赤司副本部長 他9名

（このうち4名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

〈〈本年11月22日に受取済み〉〉

- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価について
- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価を踏まえた基礎地盤及び周辺斜面の安定性について（特定重大事故等対処施設を除く）
- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価について
- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価を踏まえた基礎地盤及び周辺斜面の安定性について（特定重大事故等対処施設を除く）

- ・ 川内原子力発電所 1号炉及び2号炉 日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価（第二版）の影響について

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	はい、原子炉規制庁地震津波審査部門の鈴木です。
0:00:09	それでは今から川内玄海原子力は、の標準応答スペクトルを考慮した地震動評価。
0:00:15	いわゆる全体のまとめ資料ですね、これの中身を確認するヒアリングをしたいと思います。
0:00:22	補正申請としては昨日ですかね 21 日付で出ていて、
0:00:28	それと同じ内容を、とかまとめ資料を反映した補正申請ということなんで、
0:00:34	ちょっとまとめ資料の方もですねこの間丸瑠羽ヒアリングで確認なりをして、もし、また修正が入っているということなので、ちょっとその修正点中心に説明をしていただきたいと思います。
0:00:48	進め方ですけどもどうしますかねこれいろいろと。
0:00:54	地震動で地盤斜面、
0:00:58	長期評価という形でありますので、
0:01:03	まずはどうしますかね。1000、大地震と川内玄海どちらから、下はそっちを任せますけどうち、
0:01:11	地震動から、仙台から玄海から川内からしますかね。
0:01:15	仙台からということで仙台地震動、仙台地盤斜面上強化町強化ほとんど修正基本修正ないと思いますけど、はい。
0:01:23	ということで、まず仙台の地震動ですかね、説明をしていただきます。
0:01:33	九州電力の盛でございます。
0:01:35	それでは仙台のTTS068。
0:01:39	の資料番号のまとめ資料の補正。
0:01:43	の反映箇所に、
0:01:45	を踏まえた修正についてご説明いたします。こちらの資料の
0:01:52	ページをめくっていただきまして、
0:01:57	127 ページになります。
0:02:01	ページ飛んでちょっと恐縮でございますけど、
0:02:04	参考 6 で、北海道留萌支庁南部地震に関する記載の、
0:02:09	充実というところで、
0:02:11	127 ページの
0:02:14	今回というこの表の中になりますけど、
0:02:17	今回の補正、本申請の中で、
0:02:21	留萌支庁南部地震につきましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:24	既許可の時の評価で基盤地震動の評価ですとか、
0:02:32	確かその考慮補正の考慮というところを、
0:02:36	今回の補正で記載のと、
0:02:39	見直しを行ってございます。許可からの解釈とは変えずに、記載の充実 というか見直しを図ってございますので、そちらを反映したものになります す。
0:02:51	川内すいません、ちょっと地震動簡単ですけど、今、以上となります。
0:03:00	はい。
0:03:01	ですね、前回のヒアリングから、まとめ資料として変えたところは、
0:03:09	部分だけ、
0:03:11	はい。
0:03:11	これは最終的に申請書なんで昨日出てきた申請書の表現を、
0:03:18	最終形を入れましたっていうだけの話で、
0:03:22	昨日出てきた補正申請ですねこれは中身については当然これから確認
0:03:30	再補正申請ですね確認していくわけなんですけど、
0:03:36	ここだったかなあ。
0:03:40	ちょっと今回、
0:03:42	地下構造モデル許可のところでは地下構造モデル。
0:03:46	はこの図の図とか表なのかな、表の通りですと書いてた部分を、
0:03:51	ここからここまではこういう設定根拠でアノ値を決めましたとかですね。
0:03:56	結構その辺りをねいん短周期まで含めて適用性って話をするんで、
0:04:02	そういう部分をですね、正確に
0:04:06	テンロクの文章の方にも書き下すし、
0:04:10	定評の方も割と深さ方向とかですね、具体的な数字を
0:04:17	理屈とかっていうのをですね入れていただいているんですけど、
0:04:21	ちょっとその観点で最終チェックというかですね、確認したくて、
0:04:25	11 ページまとめ資料。
0:04:34	で、ここのいわゆるV、Q値はね、これ上から下まで最終的に慣用値です っていう、
0:04:41	形でEC
0:04:43	3000メートルより下のところは今回今議論して、これ地震調査委員会 2003 だと思っんですけど、
0:04:49	ちょっとこの辺りの密度とかですね、VsVp、
0:04:54	て言った時 2、今ここだと、の層としては次、18.5－28.548010182018、 3018.5 ですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:05	この辺りのこの密度で密度は上から下まで 3000 メートルまで岩石試験結果をもとに設定とかですね。
0:05:12	宮越ほかはあくまでVSVPの、
0:05:16	これ 1018.5 から 3018.5 からでやってますってところがあるんですけど、
0:05:22	これ、
0:05:23	藤。
0:05:24	多分後に許可のときにはここからここまでなそうこれで設定しましたっていうのは後に多分参考幾つになるのかな。
0:05:32	サンゴさんかな。
0:05:34	許可の地下構造もですねこの辺の記載と、さらにはその申請期昨日出てきた補正申請書の、
0:05:41	文言と、
0:05:43	本当にちょっと合っているのかなあと正確に
0:05:48	ちょっとどれが正しいのかということもある。
0:05:51	等もあるので、
0:05:53	補正申請の方これから中身も時は確認してくんですけど、
0:05:58	補正申請書で言うとん、どこになるんですかね 7.6 点。
0:06:02	なんで 5 か 7.5 なので、
0:06:05	7.5 点。
0:06:11	幾つだ。
0:06:14	地下構造ですよ。
0:06:17	7.5 点。
0:06:21	あんな、
0:06:22	ページで言うと 7-5 の、
0:06:29	地下、7-5-12 とかですねこれも前、補正申請なんで全部はないんですけど、
0:06:35	ちょっとないんですけど、
0:06:36	で、
0:06:37	例えばですね、ここを見ると、
0:06:41	例えば、
0:06:42	解放基盤表面から -18.5 までは、
0:06:46	試掘坑内弾性破試験の調査結果により、
0:06:51	ですね。
0:06:52	密度は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:58	密度は岩石試験結果及び地震調査委員会に基づきとか文字としては、
0:07:04	記載があつてですね。
0:07:06	確かに7号13みたいなところ見ると密度は岩石試験結果及び2000、地震調査委員会2003なんで、どっからどこまでが槽セキ試験結果かどこからどこまでが地震調査委員会かとは書いてないんですけど、
0:07:21	この申請書の記載は、これからチェックするとして、少なくともまず、
0:07:28	この11ページとですね、他にも何ヶ所か出てくるのかもしれないんですけど、
0:07:34	企業間のところの評価とか、
0:07:36	或いは途中でコウEL-200とかですね、そういうものが入ってこないとか118.5とか多分地震計の深さとかですね。
0:07:45	そういうものが入ってくるのが来ないのかっていうところ、ちょっとその正確なところですね。
0:07:51	ご説明いただいていいですかもう1回、この11ページだったり、参考3ですかねまとめ資料参考。
0:07:57	まとめ資料の11とまとめ資料参考3とか。
0:08:00	で、ちょっと付け合わせて、1個1個説明してもらっていいですか。
0:08:52	まず、
0:08:54	補正申請ざつとですね見た。
0:08:57	所。
0:08:58	でいうと、ところがこのEL118.5のところ、
0:09:03	速度構造のやつをですね切ったような記載があるんですけど、まとめ資料上だとそうになっていないというのが1点と、
0:09:10	あとは密度のところ、
0:09:13	この近く11ページ、まとめ資料11ページの
0:09:16	岩石試験結果3000メートルまでですって言ってるのと、
0:09:20	何か許可のときのこの地下構造モデルで参考3の方を、
0:09:25	見ていくと、
0:09:26	何か岩石試験結果でダイレクトに決めてるのって、
0:09:30	まとめ資料の102ページで言っている、-28.5。
0:09:35	のところは、
0:09:37	確かにそう読めるんだけどそれ以降のところ、本当にそうなのかなっていうのです。
0:09:42	という点があるので、
0:09:46	まず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:48	倉庫の関係
0:09:51	うん。
0:09:52	うん。ちょっとそこら辺りと説明いただきたい。
0:10:01	はい。九州電力の本村です。
0:10:05	11 ページと、
0:10:07	③で、
0:10:08	一部、現時点でちょっと制度できてない、整合というか 100、さっきありました 118.5 の話でありまして、密度の話とか、そういうところがちょっと製造できてないところがありますのでちょっと記載は、
0:10:22	経過しようとは思ってますけども、位置付けとして、さっき 118 点、浅いところの 28.5 メートルまでのところは、試掘坑弾性破試験部位SDPはそれ
0:10:34	で
0:10:36	118.5 メートル。
0:10:39	までについてのVsVpについては鉛直アレイと、微動アレイ、これ 102 ページに、
0:10:46	102 ページ。
0:10:49	3 ページ。
0:10:51	ところに記載。
0:10:56	程度は取れてない。
0:11:01	なんでですね、その整合性という意味ではい。
0:11:06	申請書の、
0:11:07	実際確か 2 最深部地震、地震計があって、鉛直アレイの観測結果がとれてるのって、だから 118.5。
0:11:20	で、
0:11:32	と、
0:11:34	微動アレイ観測に基づく地盤同定って書いてあってですね 105 ページまでいくと、
0:11:41	この微動アレイ等ですよ。
0:11:43	何かここ見ると、三つ目のポツでいえる場合ですね、105 ページの
0:11:48	箱書きの、
0:11:50	三つ目のポツでEL-28.5 から 118.5 メートルまでは、鉛直アレイ地震観測、微動アレイですと、
0:11:56	そこから下の線から 118.5 から 1018.5 までは微動アレイを採用って言って、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:03	ただこれは何か微動アレイ観測に基づく地盤同定のときの、
0:12:08	作業としてはという意味なのか。
0:12:11	でもこの書き方って、多分、深層再補正申請のところと言う、
0:12:17	ここからここまで-118.5 までは鉛直アレイ地震観測。
0:12:22	及び微動アレイで設定します。
0:12:25	ヤマダー-118.5 から-1018.5 までは微動アレイで、
0:12:29	の結果で設定します。なんで延長から入ってこないですよね 118.5 ユフ海田。
0:12:35	うん。そうです。
0:12:36	関係としては、観測記録が 118.5 メートルまでしかないので鉛直アレイ、
0:12:41	ここは、鉛直アレイと、微動アレイの結果を見ながら、設定をしているというのは、事実でありまして、
0:12:48	下、地震観測記録、鉛直アレイがないところについては 118.5 から 1018.5 は微動アレイで
0:12:54	ってというのは、
0:12:55	間違いを、
0:12:57	ただちょっと、
0:12:59	参考③で 118.5 の、
0:13:01	ませんというか、
0:13:03	境界がないので、
0:13:05	そこら辺の整合はちょ
0:13:07	すいません
0:13:11	密度の件ありましたけども、11 ページでは、浅いところから 3000 メーターまで
0:13:18	なんで。
0:13:19	実際その試験結果があるのは、L-200 メーターまでで、その設定については、
0:13:26	すいません、許可のとき
0:13:29	で、
0:13:31	200 メーターから深いところはその上の方の値を流用してるというようなところが、
0:13:38	密度の設定としては、
0:13:41	関係としては、
0:14:08	表にははい、入ってないですね、文章だけでございま
0:14:29	ん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:58	なのでですね、ちょっと待ってくださいね。なので、ちょっと1個1個事実関係を詰めていくと、行きたいんですけどね。
0:15:06	102 ページ
0:15:09	これだから許可のときの審査会合計抜粋だから、結局ここがせや何か正確性を期していないというか、フワッと書いてある、あると。
0:15:20	そこで井口の理解を間違える。
0:15:22	これ今、-18.5 から-28.5 までのところに赤枠を囲ってあって、
0:15:30	その説明が右書いてある、解放基盤から層状。
0:15:34	値-0.01 キロまでっていうのはまさしくその-28.5 までですよ。
0:15:39	P波速度及びS波速度については、
0:15:44	といって、試掘坑内3試験の加重平均により算出。
0:15:48	なので、
0:15:50	これは確かに、上、前のページの表ですよ。試掘坑内弾性8試験って書いてあるんで、
0:15:58	ここは相性のかな。
0:16:00	その次の三つのPについては、
0:16:04	岩石試験結果より設定と書いてあって、
0:16:07	これはだから解放基盤表面から層状面-0.01 キロメートルまでの、
0:16:13	密度については、岩石試験結果より設定ということで、少なくとも、-28.5 までは、岩石試験結果より設定ちゅうことで、これは合ってるんすよね。
0:16:26	その通りでございます
0:16:28	はい。
0:16:29	次のページの103 ページに行くと、今度は-28.5 から一気に1018.5メートルまで。
0:16:36	テスト
0:16:38	でここが相乗面、マイナス0.01 キロメートルなんで-28.5 ですよ。そこからさらにマイナスロック。
0:16:45	0.642 キロメートルまでなんでこれが、
0:16:48	480 メートルに相当すると。
0:16:52	ここまでの、
0:16:53	P波速度S波速度については敷地における鉛直あるんで、観測記録微動アレイ観測記録の地盤同定に基づく速度構造をもとに設定と言って、
0:17:03	ここでだから一気に480万。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:06	飛ぶわけです。
0:17:08	で、その下、
0:17:10	何で少なくともマイナス 480 からマイナス 1 キロまで、
0:17:14	は、
0:17:15	微動アレイのみですね。
0:17:17	と。
0:17:18	いうことに、
0:17:20	なってますと。
0:17:22	そうすると、この一呉 28.5 から -480 のところが、
0:17:28	さらに細分化
0:17:30	されているというのが正しいんですかね。
0:17:36	はい。すいません、118.5 で、一つも。
0:17:39	協会がありましてそのところが、抜けてる状態に今なって
0:17:47	はい。なんでいえる。
0:17:50	-28.5 から -480 までの間を、
0:17:53	118.5 までというところが一つ間が入って、
0:17:57	この辺りが 104 ページだったり、
0:18:00	105 ページだったりの趣旨で、
0:18:04	保管されているのかな。
0:18:10	といったときに、この説明だと今度それは少し適正化するとすると、
0:18:16	少なくとも、ちょっと昨日出てきた申請書ちょっとザッと見てた時の記憶の限りですけど、
0:18:23	あちらの方の -118.5 までは、で一旦切って、
0:18:27	鉛直アレイ
0:18:28	と微動アレイ、そこから下は微動アレイのみですっていうのは、確かに地震計設置してんのがマイナス 118.50 で、SOA 性なわけ。
0:18:40	で、一方で、
0:18:42	その間の、今言った 1018.5 までの密度については、
0:18:47	9 日何も記載がなくて設備多分強化の時にそこまではっきりと説明がなくて、
0:18:53	これわあ、
0:18:56	何でやってるかっていうのは今のところこの資料上からだと出てこない 105 ページまではね。
0:19:02	106 ページが今度その下、
0:19:05	マイナス 1018.5 から 3018.5 といって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:10	ここは、都消化を参考に設定。
0:19:15	と言っていて、
0:19:16	この左の赤枠は密度まで含めて、囲ってあるんですけど、
0:19:23	宮越他ではとって、
0:19:26	この辺りが、速度構造は、宮越ほかですと、
0:19:34	じゃあこの密度つちゅうのは、どこからが宮越評価を使って何かこれ、106 ページの記載は、
0:19:41	あくまでこれS波速度の、P波速度の速度構造の、
0:19:46	話だ。
0:19:48	ていて密度については、ここは何か都消化を使ってないつちゅうことな んですか。
0:19:54	はい。九州電力の本村です。次、
0:19:57	事実関係としましては、VSVPにつきましては、宮越ほかで採用して
0:20:04	密度については都償還によっておらず、
0:20:08	先ほどちょっと言いましたけども、
0:20:11	浅いところの岩石試験結果をそのまま流用するような形で設定をしてい るというところ
0:20:21	はい。
0:20:23	そうするとごめんなさい、岩石試験結果終わられてるところって実際は どこなんですって。少なくとも 28.5 メートルまでは取ってるっていうの は、
0:20:32	103、103 ページじゃないか。
0:20:35	202 ページがそこでわかりますと、
0:20:38	そっから、
0:20:39	1018.5 までのところも、
0:20:42	よくわからないし、書いて明示的に書いてないしさらに言うと、
0:20:46	そっからさらに深い 3018.5 までのところも、今の話だと間宮故障鹿庭、 書いてないんでしょうね。
0:20:53	はい。
0:20:57	九州電力の本村です。密度の岩石試験結果につきましては、ちょっと何 メートルっていうのはっきりちょっと覚えてないんですけども、大体 200 メー ター、EL-200 メーターまでの結果があります。
0:21:09	それについて、2.7 ぐらいというところで押さえておましてそれを
0:21:16	200 メーター程度以深

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:19	3000 メーターまでですかね、そこまで採用してると、流用してるところ。
0:21:26	はい。
0:21:27	事実としてはそうだと。
0:21:29	で、
0:21:31	最後の一番深い 107 ページ、3000 メートル下ですね。
0:21:36	ここは、
0:21:38	ここはさすがに地震調査委員会 2003 で、
0:21:42	全部決めてますっちゅうことでいいかな。
0:21:45	はい。九州電力の本村です。一番深いところにつきましては、地震調査委員会、AVSVP、それと密度も
0:21:53	設定して
0:21:57	はい。
0:21:59	ですね。
0:22:01	そうする等、
0:22:04	これから下 2 地震調査委員会 2003 に加筆ってなってるんですけど、
0:22:10	これ、加筆してるのは、何で密度は確かに 2.70、3.003. 30 って書いてあって、
0:22:17	御社の地下構造モデルと同じなので、この 2.703000 メートルからマイナス。
0:22:24	1 万 7018.5 メートルまでかな。
0:22:27	この三つの 2.70 っていうのも、
0:22:29	これ上から、
0:22:32	える一岩石試験から取ってきたやつをずっと落としていって 2.70 にしてるわけじゃなくて、これ地震調査委員会 2003 で 2.70 となっているのが、
0:22:41	たまたま岩石試験の結果浅いところですよ。
0:22:45	岩石試験の結果と一緒に、その間を全部 2.70 にしました
0:22:50	そういうことですかね。
0:22:51	はい九州電力の本村です。鈴木さんが今おっしゃられた通りの考え方で設定してごさい
0:22:59	はい。
0:23:00	で、あとはその慣用値、球児は確か上から下まで全部慣用値ですっていう説明かな。
0:23:06	101 ページなんかだと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:08	Q値はすぐには地震調査委員会 2003 とか都ショウガンとかっていうのは使ってなくて、全部慣用値ですと。
0:23:15	ということで、
0:23:16	たまたま 107 ページの地震調査委員会 2003 のところでは 300500500 っていうのが、
0:23:24	慣用値と同じだったっちゃうことですかねこれ。
0:23:27	そうですね。九州電力の本村です。今全体としては慣用値で設定してまして深いところの地震調査委員会の 300500 っていうのは、たまたまといえますか、合ってたというところで、
0:23:47	わかりました。
0:23:48	そうすると、9 次についてはすべて慣用値で、
0:23:54	それが地震調査委員会 2003 等たまたまそこは話題が同じだったっていう話で、
0:24:00	多分宮腰ほか、例えば 2106 ページも宮越岡とは書いてあるけどこれは V_s/V_p の話で、Q 値或いはミツイについては、
0:24:09	参照してませんということですかね。
0:24:12	はい。
0:24:14	なのでどうもなので今回、申請書に正確に文字として書いたという趣旨で昨日出てるんだと思いますので、
0:24:24	そちらが正しい。
0:24:27	そうだとことなのかもしれないんですけど。
0:24:31	少なくとも、多分これ許可のまとめ資料とかに立ち返ったとしても多分そこらあたりのところって正確には、結局もともと過去の
0:24:40	まとめ資料は過去の審査会の資料の抜粋で、
0:24:43	それを類、それをまとめて、月で止めてるだけなんで、
0:24:48	そこらあたりですね、ちょっと正確に、
0:24:51	後々、申請書こうなってるな、その具体的な根拠っていうのをちょっと見てみようって言って、この参考 3 を見るとまとめ資料のを見ると、
0:25:01	本当にそうなのかっていうですね。
0:25:03	ふうに読めてしまうので、
0:25:06	そこはちょっと正確に、
0:25:11	許可の地下構造モデルや実はより正確に書くところなんですっていうことだと思うので、このまとめ資料、
0:25:17	それあんまり許可のときの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:20	そこまではっきり正確にというか、間違っていないということなのかもしれないんですけど、後々読んで読み取りにくい資料をそのままペタペタ貼りつけると、結局そこは永遠と続くので、
0:25:34	言ったようなことが正しい、今言ったような説明だということなんであれば、もうちょっとその 118.5 メートルの話。
0:25:42	で切ってる話だとか、水の設定効果が何なのかとか、都消化っちゅうのはどのどれに対してその
0:25:48	都消化を使ってるんだ
0:25:50	というのは、正確に書いてください
0:25:53	ということですかね。少なくとも、まとめ資料側の方が、
0:25:57	あんまり正確ではないんだというようなことはわかりました
0:26:05	はい。九州電力の本村です。参考、まとめの参考③の方ですね、ちょっと一部記載が足りないところがありますので、ちょっと記載を充実させて正確に補正書等、
0:26:18	合うような形ですね、ちょっと修正させていただきたいと。
0:26:23	はい。そうしてくださいと。そうすると、まとめのね、参考 3 だったり、
0:26:30	まとめさん湖西以外のところでも、そういう地下構造モデルの図とか出てくるので、
0:26:36	ですね。
0:27:39	はい。
0:27:41	そうかでも近くモデルのモデルの図としてワダ表としては 118.5 で、密度が変わったりVsが変わったりVpが変わったり 90 が変わってないから、
0:27:53	ウノとしてはだから、28.5 から一気に 480 万飛ぶんですよ多分。はい。
0:27:58	ただ根拠まで書けとなると間に 118.5 というものが入ってるんですね。はい。根拠としては 118.5 で協会がある。
0:28:07	なりますので、
0:28:09	そういうことですね。はい。
0:28:21	はい。
0:28:22	ちょっと地下構造モデルの図みたいなものは設定根拠とセットもですねこれは所々、
0:28:28	まとめ資料の中で出てくるので、
0:28:30	はい。
0:28:33	正確性を期すようにしてください。
0:28:38	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:40	今後、
0:28:46	だから 11 ページかな。
0:28:48	はい。
0:28:51	そこは、
0:28:53	これからは統制を見ていく上で、
0:28:56	け、ちなみについていうと先に言ってしまうと、
0:28:59	限界はまあ大丈夫かなというところで、
0:30:56	玄海で地下構造モデル設定根拠等、
0:31:00	ひとまとめに書いてあるところどこでしたっけ。
0:31:20	20 ページかな。
0:31:23	設定方針。
0:31:43	Q値は、
0:31:46	これは今回、
0:31:48	るんで、
0:31:50	速度構造が解放基盤から、
0:31:54	これわーマイナ数ん。
0:32:15	いつの間セキ試験官セキ試験、地震調査委員会。
0:32:25	文字としては、
0:32:28	文字としては密度はどの深さまでが岩石試験で文化様からが、
0:32:35	地震調査委員会からとは、
0:32:40	書いてないけどその二つかなということで、
0:32:45	合ってるのかなね。
0:32:48	その構造で出てくるのが試掘孔内弾性破試験と、
0:32:54	PS検層、
0:32:58	と。
0:32:59	地震調査委員会の 2007、2000、
0:33:03	伴。
0:33:06	がありますと。
0:33:11	ただ、20 ページを見ると、
0:33:17	靴構内男性の試験ではPS検層
0:33:21	これが、
0:33:30	PS検層が 200 メートルマエダからそっか。
0:33:36	試掘坑内弾性破試験の結果、
0:33:40	でやっているところとPS検層でやってるところがあるけど、
0:33:45	今日、昨日出てきた申請書上は、そこをこう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:52	ー50メートルかな、どっかで間を切ってるんだけど、
0:33:56	地下構造モデルとしては、VsVpの設定変えてないから、一気に100メートルまでで、
0:34:04	その内訳までは、文字としては申請書に書いてないけど、まとめ資料上はその内訳までもうちょっと詳しく書いてある。
0:34:12	ただ使ってるものとしては間違っていない情報かな。
0:34:19	で、
0:34:20	地震調査委員会の2007と2003がある。
0:34:27	密度は、
0:34:28	2003、
0:34:31	速度構造は、
0:34:33	2007と2003があるというのが、
0:34:36	多分文字にした時の
0:34:41	ものなんだけれども、
0:34:44	ただ20ページ見るとそうは書いてない。2007しか出てない。
0:34:52	これは2007と2003両方、速度構造は両方で。
0:34:56	密度は2003で、
0:34:59	は、これは、
0:35:01	文字の方は、
0:35:03	正しいのかな。
0:35:37	うん。
0:35:38	212が、
0:35:40	許可の地下構造モデルで、
0:35:43	基本的に
0:35:44	窮地以外はね同じものを持ってきてるっていう話なんで、
0:35:48	確かに、解放基盤から、
0:35:52	200メートルっていうところまでー1括りにすると。
0:35:56	VsVpは試掘坑内男性8執権とPS検層で、
0:36:01	まとめ資料ではさらにその内訳を、どの深さ
0:36:05	っていうのについて、
0:36:07	いいですけど、それでもVSVPもそっか、ー50で変わってはいるんだよね。
0:36:16	変わってるところをその下、そこそこで変えたところを1個1個文字としてテンロクに書き下すかというのももちろんあるんですけど、
0:36:30	決めてますと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:32	200 から 3000 までが地震調査委員会 2007 で、
0:36:37	ああそうか 3000 円から 2003 なんだけど、
0:36:40	20 ページのところは 1804 メートルまでだから地震調査委員会 2007 が 出てこないっちゃうことだな。
0:36:48	うん。有井さんですね。
0:36:50	密度、
0:36:53	密度
0:37:01	うん、200 メートル、20 ページは 200 メートルまで密度岩石試験結果を もとに設定。
0:37:08	なんだけど、
0:37:10	事項ん
0:37:13	200 から 1804 メートルの密度は、
0:37:18	地震調査委員会 2007 をもとに設定となっているか。
0:37:23	密度を地震調査委員会 2007 を使っ
0:37:27	てるようなくだりは、
0:37:29	申請書上には、
0:37:31	2003 しか出てこなかったような気がするんですけど。
0:37:34	ここがどっちが正しいのかな。
0:37:38	中電力の本村です。ちょっと、改めて確認します。
0:37:42	ちょっと 2007 がちょっと抜けて、申請書上、補正書ジョウチョ
0:37:47	出てるところがあります。
0:37:50	確認させていただきます。
0:37:51	はい、えっとねその辺りが、さっきと同じ時期に 113 ページぐらいからあ って、
0:37:57	少なくとも、
0:37:59	50 メートルまでのところは、はっきりと試掘孔内弾性の試験で密度につ いては岩石試験結果より設定と書いてある。
0:38:08	その次の 50 から 200 が 214 ページ、まとめ資料、玄海 214 ページなん だけど、
0:38:16	これが、
0:38:18	そのVSVPぐらいは書いてあるんだけど、
0:38:22	うん。
0:38:23	ヒライかな、密度。
0:38:24	どうぞ。
0:38:25	同様にしたと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:29	これは何だろうがね、同様にしたと言ってるから
0:38:34	諮った上での同様かな何かで今後別の根拠で同様かは別だけどとりあえずここは、
0:38:41	はい、わかり
0:38:49	で、次の 215 でこれが一気に、一番深いところまで入っていて、
0:38:59	地震調査委員会 2007 では、
0:39:02	角谷区から、
0:39:04	地下構造、物性時にセンナの物性値を用い、
0:39:09	で、それを二、三千メートル深いところは、2003 等を参考に、
0:39:23	うん、何で今後ね等参考にだからこの等が何か別のものがあったりして、
0:39:29	でも密度VSVPQ値だから、
0:39:32	何だろうね。
0:39:38	どこも何かここには等って書いてるけど、清所長だと。
0:39:41	菅セキ試験結果多く 2000 人女性が 2003、
0:39:46	と言い切ってはいるので、
0:39:48	この辺りも少なくとももうなんか 200 メートルから 3015 メートルまでところは、
0:39:54	地震調査委員会 2007、
0:39:58	何かっぽいように見える。
0:40:01	ですけど、
0:40:03	うん。
0:40:05	はい。
0:40:11	はい。
0:40:12	例えばですよ。
0:40:15	そういう意味でいくとだから、中道加古、この辺の密度って地震調査委員会 2000 なんてこんな浅いところの 200 メートルから 1000 メートルとかそういうところの密度なんて、
0:40:26	書いてないはずだおかしいじゃないかみたいなね、当然知ってる人が見れば、そういうの
0:40:32	考えもあるかもしれませんが、なんでそういう意味でいうと正確に書いてくださいなんで、
0:40:36	ちょっとですねえ。
0:40:41	地下構造モデルの設定根拠妥当性っていうところをしっかりと、
0:40:46	申請書、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:47	川内は何か申請書がタダしそうな感じはあったんですけどもした等とかはあるかもしれないですけど、
0:40:53	地震調査委員会何とカトウとかっていうのはあるかもしれませんが、
0:40:58	ちょっとそこを限界ところ見ると、
0:41:02	聖書回ってるのかなっていうところが怖くてですね、これからちょっと申請書と突き合わせて見るんですけど、
0:41:08	パッと見てですね、昨日出てきたものを見て、今
0:41:14	その記憶の限りで、
0:41:16	今日、今いただいたまとめ資料の方を見ると、
0:41:20	本当にここが効かせてるかなというところが気になって、確認をします。ちょっとなんで事実確認をまずしてくださいということで、
0:41:27	はい。九州電力の本村です。ちょっと補正書等、まとめ資料の物性値の設定のところ、ちょっと改めてちょっと確認していきたいと思い
0:41:37	すいません。
0:42:00	ということちょっとですねこういうようなところ。
0:42:03	で、
0:42:06	一番困るのは申請書の記載が、
0:42:10	正確ではないことが一番最悪パターン。
0:42:13	申請書あってるんだけど、まとめ資料をとして、合っていないと、
0:42:20	そもそもこれまで、今回の評価から変えてない部分ではある。
0:42:24	ですけど、
0:42:25	議論をし、
0:42:27	たことと合っていないけど結果的には正確っていう申請書は正確ですけど、
0:42:32	議論に使った資料は合ってませんというのをそれは次に困って、
0:42:40	或いは当然こういう審査資料っていうのは後々後付。
0:42:45	我々の判断なり議論なりというものが、正しいんだというところを後付したり検証したりする。
0:42:52	ための行政文書ではあるので、
0:42:55	そこが
0:42:57	これまで許可のときの議論。
0:43:00	だったり、今回の審査の時にいた人間はわかるけれども、
0:43:04	ここ正しくはこうなんですよってわかるけど、
0:43:07	この後から見たら誰もわからん。
0:43:10	いう基礎知識を持っている人が見ても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:13	何か迷うっていうのは、その次に困る。
0:43:18	はい。
0:43:20	ですかね、ちょっとそういう意味で、もうちゃんと品質チェックをしていただきたいかなと。
0:43:27	ということです。
0:43:32	ちょっと取り組み地震動の部分、気
0:43:37	もし、
0:43:38	ちょっと先に玄海の地下構造を言っていましたけど玄海のまとめ資料地震動の部分で、オカアノ修正反映してるようなところ。
0:43:49	ちょっとそれが、何ていうかその再補正の方にも関連してくるような修正なのかどうかっていうところもあわせておっしゃっていただいていいですか。
0:43:59	はい。
0:44:00	玄海の修正につきましては、
0:44:03	元の、
0:44:05	まとめ資料の 310 ページになります。
0:44:08	こちらの修正につきましては先ほどの仙台の留萌支庁南部地震の記載の充実と、
0:44:15	同様の
0:44:18	同様の内容になりまして、今回補正申請書に反映した内容について、
0:44:23	ご説明したものですので、また、今後再補正が必要になるような内容ではございません。
0:44:33	ここだけでまとめようとしたはい。
0:44:38	うん。
0:44:44	はい。
0:44:45	という意味でちょっと申請書の記載が、
0:44:50	ている。
0:44:51	限りであれば、ちょっとまとめ資料の品質チェックで、まとめ資料側の方で、
0:44:56	少し正確ではない記載があればそれは採用、
0:45:00	政府ではあるんですけど、
0:45:03	今の部分は、申請書の方が正しいのかどうかっていうところに、これからチェックする若干疑義があったので、あ、すいません。
0:45:11	聞きしました。
0:45:14	はい。ちょっと大分の資料なので、当然、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:19	申請書との関係で特に気になったところを申し上げました
0:45:23	二つも申し上げたつもりですけどこれから、
0:45:25	申請書のほう確認してたら、
0:45:28	あんまりこういう品質チェック的なことは、
0:45:31	こちら側という御社の中でしっかりやってもらいたいんですが、はい。
0:45:36	じゃあちょっと地盤斜面の方がいいですかね次じゃ仙台の。
0:45:40	一番斜面、ちょっとね。
0:45:45	はい。九州電力の村上です。
0:45:47	それでは、仙台の基礎地盤のまとめ資料の修正箇所についてご説明をさせていただきます。
0:45:53	資料につきましては、本日付で提出させていただいてます資料番号
0:45:58	DTSの 069 になります。
0:46:03	ページめくっていただきまして 4 ページ。
0:46:06	になります。
0:46:09	4 ページの方で修正箇所、
0:46:12	が、幾つかございまして、まず一つ目。
0:46:14	1、
0:46:15	■一つ目の後半の部分、一部地形、
0:46:20	変更しているというところに米印の 2 ということで追記をさせていただきます。こちらの趣旨としては、既許可との時系列が、ここだけを読んだ時
0:46:31	読んだだけでとちょっとわかりづらい部分がありましたので、来記載を追加させていただいたということでございます。
0:46:38	二つ目の四角、
0:46:41	におきまして、今回の地形変更は、対象施設から離れており、
0:46:46	施設を直接する岩盤、またはマンメイドロック等に改変はないと。
0:46:50	ということでこの表現を変更させて、変更してございます。こちらについては、前回のヒアリングでもご説明した通りでございます。
0:46:59	合わせまして※3 ということで、こちら今回追記したものでございますけれども、等が何を指すかということで、前回こちらに記載しているものの基礎であるということを口頭の
0:47:11	でご説明したところでありますけれどもそちらを、
0:47:16	ベースとして、小コウのページに落としております。
0:47:21	続きまして
0:47:24	6 ページ、お願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:29	こちらにつきましては、図の修正になりますけれども、先ほどのマンメイドロック等との関連で、
0:47:36	対象施設をハッチングしている箇所。
0:47:39	が、一部、
0:47:43	整合してない部分がありましたので、具体的に言いますと、タンクの基礎の部分ハッチングしているというところがありましたのでそのハッチングを抜いた図面に修正をしております。
0:47:53	こちらの図面の修正につきましては、このページ以降、
0:47:58	平面図ですと、対象施設をあらわす平面図ですとか、解析用要素分割図、滑り安全率の
0:48:05	表の中、図表の中で一部出てくるところがありますので、そちらにつきましても、すべての図面を変更してございます。
0:48:14	続きまして 9 ページ。
0:48:16	をお願いします。
0:48:19	黒四角の二つ目ですけれども、今回の申請において確認したというところで、
0:48:25	規則の三条 3 項、
0:48:27	及び第 38 条 3 項、いわゆる変位に関する
0:48:32	事項については、今回の申請では、
0:48:36	申請の申請では、
0:48:40	Ss3 を追加したものであることから、そこに関する評価不要ということで、こちら野瀬、記載を追加してございます。
0:48:56	続きまして 12 ページをお願いします。
0:49:01	こちら、先ほどの図面の修正と
0:49:05	かかるところで、
0:49:06	ございますけれども、図面の修正は先ほどご説明した通りの修正にしております。
0:49:14	説明書の中で燃料輸送タンクというものがございますけれども、
0:49:18	こちら、貯蔵タンク基礎というところを、前回までの資料では記載しております。しておりましたので、
0:49:26	タンクというところで表現を改めてございます。
0:49:34	仙台の特重以外の
0:49:36	修正につきましては、以上になります。
0:49:42	はい規制庁地震津波審査部門の鈴木ですはいご説明ありがとうございます特イワマ同士ということだと思っておりますので改めて今日ヒアリングで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:53	過去の間では確認はしません。資料としては先ほど出ているので、
0:49:58	その中で確認をします。
0:50:00	はい。
0:50:02	そうかな。
0:50:07	ところが今、ちょっとこの4ページでこれは、
0:50:11	何で地盤斜面の、
0:50:14	評価をした時点と、知見変更の開始時点というかが若干違うので、2ヶ月ぐらいなのかな。そこすいません正確に書いていただいた
0:50:23	んで、
0:50:24	ちょっとこれ我々もいついつ以降の許可以降の地形変更っていう時に、正確なところ、
0:50:33	これはこれとして理解しました。はい。
0:50:38	はい。
0:50:40	その上で、今で言うと6ページとかもそうなんですかねどこか代表ありましたけど小高図面上、評価対象施設といったときにタンク基礎まで塗ってた部分を、タンクのみ、
0:50:54	評価対象施設は文字どおりコウタンクのものタンクとしているけれども、
0:50:59	実際、
0:51:02	そうか指示の代表性指示は結局でかい建屋の方で代表してるからこのタンク基礎別に、
0:51:08	の強い磁カワダ支持力ってのは直接は見てないですよ。
0:51:13	ちょっと代表施設野瀬選定収集見アノ。
0:51:17	対象施設代表施設。
0:51:20	いうところはちょっと申請書の方で正確に書き出されてるかは、
0:51:25	確認はしますけど、
0:51:27	はい。
0:51:38	うん。
0:51:40	かなあ。
0:51:49	ちょっとねその辺りでもDBの中での代表と多分SAも、
0:51:54	SAのうち、DBと重複するものを除いたものが多分評価対象で、そこからまた申請してっていうのがあるので、
0:52:02	根井。
0:52:05	7日間のページで年のページずれるっちゃうことであれば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:11	いわゆる評価対象施設とその評価代表施設で、多分支持と変形でも変形はもう変形の地殻変動は多分原子炉建屋のみだったかな。
0:52:21	加来原子炉格納容器と、どっちだ、限界が各
0:52:26	点数がね、というのがあって、レシート変形のところで、対象施設、
0:52:33	と、何とかってというのは、
0:52:35	場合によっても本当に参考資料の2とかね、多分 1000 仙台で、
0:52:40	間に入れると全体のページ構成がずれるということであれば、
0:52:44	そういう形で、
0:52:47	対象と代表。
0:52:48	選定と考え方みたいなやつを、ぺろっと1枚つけていただくとか、
0:52:58	図面に注釈をつけるかですけど多分耐震重要設備も結構あるからね。
0:53:04	それか、ちょっとあれかな。
0:53:08	どこがどこだ。例えば、12 ページとかね。
0:53:12	12 ページでは耐震 10 施設ですよ。
0:53:16	評価対象。
0:53:22	これ対象施設が、まず、条文の対象施設があって、多分さ四条三条四条の、
0:53:28	ああいう方でいうと、対象施設がそのまま、
0:53:33	評価対象施設になる。
0:53:35	それを、
0:53:37	代表させて、一応原子炉建屋の何とか何とか何とかっていうふうに絞ってってるのかな。
0:53:45	ちょっとそこら辺もねわかるようにしてもらえば 13 ページはSAになるので、特重除きますけど、
0:53:52	これは条文の対象施設はこれなんだけれども、そのうち多分申請上で言ってる評価対象施設は前のページの 12 ページと重複するものを除いて、
0:54:04	評価対象施設にして、そっからさらに代表施設にしてるってところがあるので、
0:54:09	そのあたりがですね、
0:54:11	条文の対象施設と評価の対象施設と、さらに代表施設というところがあると思うので、
0:54:18	そこら辺を図面の中に注釈で書くのが大変なのであれば、
0:54:24	この図面を再度再掲でもいいしその後ろに、参考 2 みたいな形でつけてもいい

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:31	飛ばしてね。
0:55:06	ね。それかだったら、多分施設名だけだったら、あんまり問題ないんですかね。あとSAの説明も名称も駄目なのか。
0:55:15	違ったかな。
0:55:17	大丈夫なんですか。説明だけだったらいいんだよね。
0:55:19	ということであれば
0:55:21	もう説明のリストでこれからこういう観点で収集したと。
0:55:31	はい。ということで条文対象と評価対象と、
0:55:36	代表っていうところで、
0:55:40	どういうふうに、
0:55:41	選んでいるかというような
0:55:45	ところですね。
0:55:46	そこは
0:55:49	この前申請書側には、少し書き下す形で正確に書き下すというような、
0:55:55	申請を出すということは聞いているので、申請書はその考えに沿って確認をこれからしますけど、
0:56:02	ちょっとまとめ資料ですね。はい。
0:56:04	ちょっと間にあえて挟んでいただく必要はないので、
0:56:09	参考資料という形で後ろにつけていただいても、
0:56:13	うん。
0:56:14	はい。
0:56:15	でですね、ちょっとあったのかな。その上で1点気になったのは、これはちょっと今後は根井の訂正化して、
0:56:24	いただいた方がいいかなと思ったんで、9ページなお書きで、33コウいわゆる変位のところは、
0:56:31	出されたんですけど、
0:56:33	これが、
0:56:35	今回、
0:56:36	追加した基準地震動がSsさんが特定せず、
0:56:40	として設定した基準地震動だと。
0:56:43	将来活動する可能性があった外海について言ってるのは、
0:56:48	いや別に震源として考慮する活断層のもんじゃなくてこれ三条側の方だから、
0:56:53	Aの方ですよ。
0:56:55	これ特定せずじゃない方の基準地震動だと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:59	数ソウノ表ウノ評価しますか、しませんよねこれ。
0:57:04	というところがあって、
0:57:06	この今回の申請が、基準地震動の追加という申請なんでここはいじりませんっていう
0:57:13	イシイことであれば、
0:57:15	池戸小高特定せずだから、いりませんっていうと、ちょっとそれは正確じゃないですよっていうことで、
0:57:22	ヤノ、
0:57:23	当然、最後の結論として活動する可能性の断層等の有無に関する評価ってこの、
0:57:29	三次参考 33 コウ 3083 項の変位のところの話なので、
0:57:34	特定せざるを得てせいぜいなかろうかなあ、なかろうがですね。
0:57:39	ここわあ、いわゆる
0:57:41	耐震重要施設或いは重大事故等対象施設、
0:57:45	変位が所の恐れがない地盤に設置と言ってるところの、
0:57:50	3 条断層 38 条断層ところは、あんまりこの特定せずかどうかは関係ないので、
0:57:57	うん。
0:57:58	評価が不要というかそもそも変更してません。
0:58:02	ちょっとそこら辺があって、評価、
0:58:06	うん。
0:58:08	ただあれかな。
0:58:10	他のサイト同士とかですけど、特定せずだからっていう言い方は多分してないかしたとしたらそっちが正確じゃないかもしれないけど、
0:58:19	はい、九州電力の徳永です。
0:58:22	はい。
0:58:22	ちょっと他サイトも参考にしながら、ちょっと書いてはいるところではあるんですけどちょっとここで書いた趣旨といたしましては、
0:58:32	我々としては、今回、SsSs3 ないし原価でいけばSs6 の話があるんですけど今回それが追加されることで、3 条及び 38 条が
0:58:44	基礎地盤がメインですけども評価対象になるということでタダその三条のうちの 3 項及び 38 条の 3 個につきましては基本的にこれは関係ない話であるので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:55	評価は不要というふうにしたところですので、斜面とかでいきますと言った、その評価が要るのか入れないと確認した上で評価結果が変わらないということで、
0:59:07	表、変更ないというような表現を書き下しているのと、江藤区別するために、評価は不要というような表現にしたというところでございます。以上でございます。
0:59:32	わかりました。わかりました。はい。
0:59:36	うん。とするとちょっと今回追加したSs3は、特定せずってところの理由のところですかね。
0:59:43	はい。
0:59:45	なんでこれは、
0:59:46	今回申請なのか本申請中で、
0:59:49	こういう申請なんで、
0:59:50	いきませんと。
0:59:51	ということですかね。
0:59:54	九州電力の徳永です。趣旨理解いたしますので修正させていただきたいと思います。
1:00:00	基準地震動が変更になったり追加したりするものなので、それが追加になろうが変更になろうが、この辺については関係ありませんよ。
1:00:08	ということだと思いますので、はい。
1:00:11	と、というすいませんそこだけです。はい。
1:00:31	ということで
1:00:33	全面的にまとめ資料の方ですね、
1:00:38	手を加えるというよりは少しその対象代表というようなところを、
1:00:44	スクリーニングのところだけ、
1:00:46	させていただくということでお願いし、
1:00:49	します。はい。
1:00:51	一応申請内容の方はベッドで確認しますし、最後ちょっとその付け合せで、もし、
1:00:57	ちょっとまとめ資料のアップデートの結果少し、これ対照して1個数が合わんというようなことがなければ、はい。
1:01:05	いいかなと思ってますけど。はい。
1:01:07	玄海の地盤斜面ですかね。
1:01:12	はい。九州電力の村上です。それでは限界の方を説明させていただきます。資料は、TGの06262番になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:24	ページ、めくっていただきまして3ページになります。
1:01:28	評価方針のところ、こちら川内と同じですけども、二つ目の黒四角でなお書きで、先ほどご議論いただいた部分を追加しております。こちらにつきましては、先ほど、
1:01:39	コメントいただきましたので表現のほうを改めさせていただきます。
1:01:45	続きまして、
1:01:49	20ページお願いします。
1:01:52	20、20ページから27ページまで、解析用要素分割図を示してございますけれども、こちらの凡例につきましては、前回、修正内容を示しておりますけれども、こちら、
1:02:04	押す、前回お示した凡例に修正をしております。
1:02:09	こちらにつきましては、
1:02:11	今回の再補正につきましても同様の修正を行ってございます。
1:02:16	最後に、66ページになります。こちらにまとめを記載しておりますけれども、
1:02:21	まとめ■二つ目のうちの、
1:02:24	丸ポチの一つ目、変状に関わる記載のところ、マンメイドロック。
1:02:31	というところの記載が、マーメイドロック等というところになってましたのでこちら、
1:02:36	記載の適正化を図ってございます。
1:02:40	玄海につきましては以上になります。
1:02:48	はい説明ありがとうございました。限界は地形変更ないんで、3ページの直晃は上の一番ウダイワサキと一種、川内と同じですね。
1:03:02	その上でた
1:03:09	と玄海の場合はだからこれ、兼用キャスクが、
1:03:14	あるのD。
1:03:17	これもねえ。
1:03:18	ええ。
1:03:20	というところ、
1:03:22	4ページはこれだカラー耐震重要施設で、
1:03:27	5ページがS、Aで、
1:03:30	6ページがここで兼用キャスクになるんですけど、
1:03:36	終わってる。
1:03:37	これ、
1:03:39	ちょっと最終的に割れもちょっとチェックはしてるんですけど、これ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:43	基礎地盤及び周辺斜面の安定性、これSクラスに分類されるのは容器、
1:03:51	その容器を固定スルー。
1:03:56	建屋、
1:03:58	ですかね、建屋用途構成図タテ焼層
1:04:02	ちょっとそこら辺を、
1:04:04	ちょっと正確なところをですね、教えていただきたくて、
1:04:12	建物だったか建屋基礎だ。
1:04:15	たんじゃないかというところで、
1:04:20	建物そのものでっていうのがあってですね今ここだと、建屋、
1:04:24	というふうに書いてあるんですけど、
1:04:26	仙台なんか割と何か、何と何々木曾とかあれは多分建屋じゃなくてコンクリートがぼんと置いてあるだけだと思うんですけど、ちょっとそこら辺をですね。
1:04:34	ちょっと正確なところどうなったのかなというところで、
1:04:40	多分申請書のほうはこの兼用キャスクのときに、多分そのあたり、正確に書いて、
1:04:46	いるんじゃないかと思ってる最後ちょっとそこと突き合わせをしようかと思ってるんですけど。
1:04:53	ちょっとそこがですねえ。
1:04:56	これ正確かなあというところがあって、もしかしたら兼用キャスクの、
1:05:01	この時にもですね、
1:05:04	何かまとめ資料のところでは、あんまり正確
1:05:09	ではなく最後申請書では正確に書いたっていうもしそういう段階があって、まとめし兼用キャスクのときのまとめ資料ですね、より正確に直し切れてないということだとすると、
1:05:20	それを引きずってる可能性もあるわけなんで、
1:05:24	ちょっとそこをですね、確認させてもらいたいんですけど。
1:05:36	はい。九州電力の徳永です。こちらももとの大きな概念でいきますと鈴木さんがご指摘の通り
1:05:46	容器自体が本来はSクラスで、木場固定するかしないかによって評価対象施設が変わるということになりますんで、もし固定しない場合は建屋はCクラスの扱いになりますけれども弊社の場合でいきますとこれを固定するというので、谷建屋に固定するというので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:04	間接支持構造物としてのSクラスとして評価をしていたというふうには認識をさせていただきます。実際に申請書の方では私のちょっと記憶の中でいきますと、
1:06:15	容器を固定する、建屋基礎及び
1:06:23	使用済み燃料乾式貯蔵建屋状構造物で構成される建屋を対象施設というふうにお伝えをしていたと思いますので、
1:06:33	多分、こちらと今のところ表彰、平仄が合っているかというふうには認識させていただきます。以上でございます。
1:06:52	周辺斜面も、
1:06:55	かな、斜面もかな、ちょっと見て下さいね。
1:09:09	なあ。一応これも使用済み燃料乾式貯蔵容器を固定する。
1:09:16	使用済み燃料乾式貯蔵建屋基礎及び、
1:09:21	使用済み燃料乾式貯蔵建屋上部構造物で構成される使用済み燃料、
1:09:28	乾式貯蔵建屋を代表施設。
1:09:33	そういうことですかね。
1:09:38	略せばと。
1:09:40	これちょっと何だ。教えてもらおうかな。
1:09:42	固定するんで、木曾だったら固定してる部分の支持されしている部分は当然入るんですけど、
1:09:48	建屋基礎、
1:09:50	貯蔵建屋上部構造物、
1:09:55	で構成される建屋、
1:10:01	ということ。
1:10:03	もう入れてるの。
1:10:06	別に遮へいとかに期待してるわけじゃないんですよ。
1:10:10	思うんですよ。
1:10:15	病気でもって遮へい閉じ込めを担保していて、
1:10:19	ただ、
1:10:20	という話なんだっけ。
1:10:22	何かあんのかなあ。
1:10:23	だったかな。
1:10:29	壁も期待してるんですけど。
1:10:34	あれでそれでSになってる。でもSはS設備は、
1:10:39	Cだけど機能に一部記載をしてるっちゃうことで、
1:10:46	いずれにしても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:55	強いですよ。
1:11:01	今とはいえですよ。これ1回これでやって変えてない。だから、
1:11:07	これを、
1:11:10	そうか。
1:11:11	使用済み燃料中
1:11:13	乾式貯蔵容器を固定する。
1:11:16	木曾及び、
1:11:18	構造、長構造物で構成される。
1:11:23	木曾及び麻生木曾及び上部構造物で構成される建屋は、
1:11:34	基礎と建屋が分かれて、
1:11:36	ではないよね。
1:11:38	うん。これはこれ、読み方として、
1:11:44	これ使用済み燃料乾式貯蔵容器を固定する使用済み燃料乾式貯蔵建屋基礎、
1:11:50	というものと、
1:11:52	使用済み燃料乾式貯蔵建屋上部構造物で構成される中燃料乾式貯蔵建屋、
1:12:03	を、
1:12:04	そのどっちにかかって、
1:12:09	使用済み燃料乾式貯蔵容器を固定する。
1:12:14	移送予定している基礎と、腰部構造物で崩れると建屋を、
1:12:19	評価対象かな、そこは基礎と、
1:12:22	基礎の上部、
1:12:23	基礎がありますと、あと上部構造物で構成。
1:12:27	基礎と上部構造物の二つで構成される。
1:12:31	いや、まあ、そうですね、建屋基礎、
1:12:36	使用済み乾式貯蔵建屋のその建屋のうちの基礎の部分と、上部構造物で構成される。
1:12:44	足し合わせると、結局建屋になりますってことなんだよねこれ。
1:12:48	タテ藪建屋の基礎部分と、上部構造物部分とで、
1:12:54	そう、足すと、建屋になりますっていう。
1:12:57	そういうことなのかな。
1:12:59	うん。
1:13:00	ちょっと、にしてもはい。これが周辺斜面は多分、
1:13:06	そういうことですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:09	あとは、
1:13:11	周辺斜面ではなく、
1:13:14	指示だの、企画変動だのっていうとあれ。
1:13:18	順番でいくと申請書上残念ながら、
1:13:22	兼用キャスクって、
1:13:29	兼用キャスクの地盤斜面ってそうか一番最後、特重よりも後に出てくるんですよね。
1:13:37	使用済みのカセ容器は、
1:13:42	容器を固定する建屋基礎とタテ両方、これも一緒か。
1:13:48	評価対象施設っていうと、
1:13:52	Sクラスは兼用キャスクなんですけど、
1:13:55	条文の対象。
1:13:57	になってる設備でいくと兼用キャスクだけど評価対象施設になると建屋になるわけですね。
1:14:03	ということですねこの対象施設というって、
1:14:06	の想定滑りヒューズ表前面に傾斜だったり、
1:14:10	議事録。
1:14:11	基礎の支持力については、
1:14:13	Cクラスは
1:14:15	周辺斜面の不等沈下とかって言ったときに、
1:14:20	評価はどうしてるんだこれ。
1:14:24	耐震重要数
1:14:25	兼用キャスク
1:14:36	建屋が評価対象でその建屋基礎にかかっている。
1:14:41	今日イシイ色を見てるのかなあ。
1:14:51	小対象施設の基礎地盤は、主として、
1:14:54	砂岩及び頁岩のB級以上の岩盤で構成されており市場試験結果からって言うてる対象施設等が建屋ですよ。
1:15:04	対象施設、基礎底面の地震時最大接地圧は、ここに荒ニュートンで入ってると対象施設がさっき言った、
1:15:13	乾式建屋って言うてるので、
1:15:15	この建屋の
1:15:18	対象施設基礎底面両端の鉛直方向の相対変位とか、対象施設っていう方を、
1:15:24	してってその対象施設何ぞやっていうのを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:28	さっき言ったように、
1:15:30	いるのでやっぱタテヤノ。
1:15:39	建屋と言ってる。
1:15:42	ものの内訳になると、
1:15:44	花木サトウが本構想
1:15:47	でさらに、
1:15:48	Sクラスの容器との関係でいうと、その容器を固定していくのが、
1:15:56	本形成を
1:16:43	なのでそういうところはいいのかな、申請書で対象施設と言っている部分で使用済み、
1:16:52	キャスクそのものではなくて、
1:16:56	建屋、それを支持している建屋岸木曾と、上部構造物を足した
1:17:02	建屋で、
1:17:04	いうんで、
1:17:08	以上は、
1:17:09	一応これはまとめ資料上の記載としては、
1:17:17	6 ページもS耐震Sクラスに分類する。
1:17:21	病気
1:17:23	を、
1:17:24	固定する。
1:17:26	建屋についてとってこのナカが建屋基礎とうわものを足した
1:17:31	上部構造物建屋だから、
1:17:36	うん。
1:17:39	待って出張ってるのかな。
1:18:01	ちょっと待てよ。
1:18:03	同施設は、
1:18:05	周辺、
1:18:06	施設である建屋、
1:18:15	なんて言うのかなあ、ちょっと待てよ。
1:18:18	建屋について適合性オク。
1:18:25	キャスクについて適用性を確認する
1:18:28	までもタテについて、
1:19:46	触れました。
1:19:46	だからそうか、Cを済み燃料貯蔵施設というとさらに広い概念に、
1:19:52	なあ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:53	かな。
1:19:54	そうですね植野勝見と使用済み燃料貯蔵施設。
1:19:59	多分乾式貯蔵施設はないですけど、容器と周辺せずである建屋でさらにそこに頭がついて、
1:20:07	米があつて機器配管系に分類されるとかあるんで、
1:20:12	ね。
1:20:14	一応メール貯蔵施設っていうとさらに広い概念になるから、
1:20:19	Sクラスの使用済み燃料容器があつて、
1:20:24	それを支持内包している建屋、
1:20:27	が、そこは対象評価の対象施設としました。
1:20:38	一応、
1:20:44	今回はSsだけの変更追加だんで、
1:20:48	そもそも下位クラスの話はないから、
1:20:51	細かいその部分は、
1:20:53	いずれにしても対象施設。
1:20:55	イコール、
1:20:56	評価対象イセ＝使用済み燃料乾式貯蔵建屋ですね。
1:21:00	これははい。
1:21:05	ちょっとなかなかすいません、キャスクのところって、書き物にしても、文字にして書き物にするときに、非常に面倒くさいので、はい。
1:21:17	そうそう。
1:21:20	その貯蔵施設ではない
1:21:32	のところかな。
1:21:35	というか、なので後すいませんこちらも、そういった意味で、
1:21:41	対象施設、
1:21:42	違う施設対象者で評価対象施設代表者
1:21:47	ですかね、ちょっとそれはこれも
1:21:49	もう一番手っ取り早くあるのであれば、本当3項のいくつかを繰り上げるかちゅうのもあるんです多分、参考の4。
1:22:01	断面位置の選定とかね。
1:22:04	本当なんか玄武岩、
1:22:07	滑りの検討よりは、前にやった方がいいのかもしれないんですけど、
1:22:13	ちょっとそこは最後、
1:22:16	限られた中で、
1:22:18	再補正の確認っていう、過程の中でやってやってくような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:23	はい。
1:22:26	すみません。
1:22:27	のところですかね。はい。
1:22:29	で、
1:22:32	長期評価のところ、あと残りやすい
1:22:35	そういう意味で言うと、
1:22:36	特重施設についてはほぼ同同士ということだと。
1:22:39	で、
1:22:40	ここは省略する。
1:22:42	ね。
1:22:43	我々、これから補正書の内容ですかね、チェック。
1:22:49	はしていきますけれども、はい。
1:22:52	あと日向灘と南西諸島の長期評価は、
1:22:58	これ、わあ、特に、
1:23:02	言えて、
1:23:05	ないですかねという話かな。
1:23:07	はい。九州電力の村上です。
1:23:11	仙台の長期評価、日向灘の方につきましては、11月の1日に、
1:23:16	資料を出させていただいてましてそこからの変更はございません。今回改めてまとめ資料意識として提出させていただくということで、
1:23:25	資料番号と、日付を改めて提出させていただいたものでございます。
1:23:31	はい、わかりましたありがとうございます。
1:23:34	で、一応
1:23:36	これから昨日出てきた補正そのものはこちらの方で確認をさせていただくとしていただくんですけど、
1:23:45	一応これまでまとめ資料を少し直したり具体化してこの辺りは修正補正に、
1:23:53	少しこの部分は反映したいと思いますという話はヒアリングで確認してるんですけど、
1:23:58	当然ながら御社の中での品質チェックなりですね、何なりっていうところで、
1:24:02	以前項目挙げていただいて、
1:24:06	出たじゃないですか項目ベースでの一覧表か何かで、
1:24:10	添 6-7. コア。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:14	岩級の何か判例を適正化とかって書いてありましたけど、あれと、以上に何か申請書で、
1:24:21	品質チェックの過程でここはかなり変わってますが、ここは図が変わりましたとかって何かあります。
1:24:27	申請書を使いながらの説明もちろん物がないので今はできないんですけど、
1:24:33	ここら辺って何かあります例えば、
1:24:37	申請書の添 6 の本部部分のここは、実は、
1:24:41	抱えているんですか。
1:24:57	九州電力のトモダ
1:25:00	はい。特に、地震関係ないですね。
1:25:05	草地盤関係につきましてもぎりぎりまで本文の方、ご確認いただいて、その内容とあとは図面の
1:25:13	判例ですとか、着色ですとか、そういったところを修正させ、
1:25:18	修正して、今回再補正を行っております。
1:25:22	以上です。
1:25:24	はい。
1:25:25	わかりました。
1:25:27	じゃ、よろしければ資料としてはね、今日出てきた申請書も今パツてできた段階なので、これからチェックはしますということで、
1:25:36	そこちょっとまとめ資料とかですね、少しまとめるとすでに適正化がっていう部分は、早々に直していただくとして、
1:25:47	それ以外も含めて、ちょっと申請書との突き合わせで審査内容との関係で疑義があれば、また
1:25:56	確認は、それはちょっと中身に依じて面談なのか、ヒアリングなのかっちゃうことでもありますけど、
1:26:03	はい。
1:26:04	そうしましたらWEB参加の、
1:26:08	だから何か質問ありますかなければ、
1:26:12	ヒアリングとして終了したいと思いますけど。
1:26:15	大丈夫ですか。
1:26:17	九州電力の方から、
1:26:19	すいません 1 点。
1:26:20	はい。確認よろしいでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:22	基礎地盤、九州電力の村上です。基礎地盤関係のまとめ資料のところで、
1:26:28	そもそもの条文の対象施設が何か、そこから代表施設として絞っているものは何かで評価してるのは何かってところを、
1:26:37	追記ということ。
1:26:39	コメントいただいたんですけども、玄海の方ですね、本日の資料でいきますと、62の方になりますけれども、
1:26:48	こちらにつきましては、
1:26:52	参考資料1ページでいきますと、69ページになります。
1:26:56	こちらの方で評価対象断面位置の選定という中で、
1:27:00	地質構造だったりというのが同じようなもので、あとは原子炉格納容器周辺建屋、
1:27:07	が規模が大きいということでこれらを対象、
1:27:12	を代表させて、滑り傾斜静性の
1:27:15	の評価を行うという旨をこちら玄海の方ですね。
1:27:19	もともと記載をさせていただいたので、先ほどの趣旨と照らし合わせると、
1:27:25	ここの、
1:27:26	ページでも、
1:27:29	内容としてはいいのかなってところ。
1:27:31	考えているんですけども、それについてはいかがでしょうか。えーとですね、代表し成長のところはどうなってるんだこれってー。
1:27:42	その代表の、
1:27:44	考え方根拠みたいなやつは、多分これで、
1:27:47	いいんですけど、ざっくりと、
1:27:50	書いてしまってるので、
1:27:55	うん。
1:27:56	もうちょっとその、
1:27:58	だから逆に仙台にこういうようなものが、
1:28:01	ぱっとつくかという多分それーすぐ出るかっていうとありますよね。
1:28:06	うん。
1:28:08	ここまでですね、のものがあるかっていうと、
1:28:11	当然さらにこんなところに何かを重さを書き出すときりがない話になってくるんで、
1:28:16	考え方はわかるんですけど、これ、ちょっと待ってね必置

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:20	69 ページ、玄海の、
1:28:23	原子炉格納容器及び原子炉周辺建屋で非常用取水設備海水管ダクト その他
1:28:29	ってなってんすけど、多分
1:28:31	特重以外を全部費、
1:28:34	くるめてるんですよ。
1:28:38	うん。
1:28:39	当然ながらこの中に兼用キャスク入ってこないわけですよっていう ところがあって、
1:28:44	これだから、ちょっと待てよ、限界ノダ第 3 電源の時までのものが入って るのかな。
1:28:51	というところで、ただこれはあくまで、もともと大くりのリストがあった上 で、
1:28:58	何でSA脳施設もうこれで、
1:29:02	代表させるとこれってなるので、
1:29:06	ちょっとそこもあってですね、実際申請書等の突合せは、
1:29:10	条文単位になるので、考え方はこれがあるんで、これはいいですと仙台 について、ここまでのものを急激を、すぐっていうところまでは求めてな いで、
1:29:22	うん。そうするともしかしたら限界は少しページを 70 ページとかこれ以 降、繰り下がるかもしれないけど、これ、この 69 ページ。
1:29:32	が、の税前後にやった方が確かにいいかもしれない。
1:29:37	はい。
1:29:38	そうですね。
1:29:39	あと何だっけ。
1:29:42	乾式キャスクは建物 1 個しかないこれ多分代表もへったくれもないんだ と思いますんで、
1:29:47	うん、はい、わかりました
1:29:51	かな、だったり、
1:29:53	当然これあと何だっけ。
1:29:56	変更
1:29:58	ここは今回、変形は減価変形、仙台と違って
1:30:03	変形の部分ワー
1:30:06	関係ないので、
1:30:09	いわゆる、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:13	で、仙台の方は、一応、
1:30:16	変形の地殻変動の紐づくアノ足し上げ、
1:30:20	傾斜の方ですね、あっちが変わっちゃったので、
1:30:23	あれですけど、せっかくなんで、あれかな。
1:30:27	委員会はそういう意味でいうと変形側の方の地殻変動の代表施設については、
1:30:32	今回だから評価しませんと言ってるから、
1:30:36	出てこないと言えれば出てこない。
1:30:39	ですね、例えば少なくとも仙台の方は、
1:30:41	そっちの地殻変動の代表の話は多分すでに確か書いてあったかな、あちは書いてあるんですよ。
1:30:47	地殻変動の代表は原子炉建屋っていうのは、タテだったかなっていうの多分書いてあると思うんで、そこは明示的にされてるからいいんですけど、
1:30:55	ちょっと私事のところです。
1:30:58	支持力、滑りとか、ちょっとそこら辺がはっきりと書いてもらう。
1:31:02	これ大丈夫です。
1:31:03	はい。
1:31:04	よろしいですか。
1:31:07	はい。ということで、
1:31:09	ちょっと非常に年だったのはちょっと地下構造モデルの書き下しのところが、
1:31:18	正確なのか、ちょっと場合によっては、
1:31:21	テンロクにはめるかもというところで、
1:31:25	ちょっとパッと出てきたものと最終付け合せをしてたんですけど、
1:31:30	UALの本店の方はよろしいですかね、あのやりとりは聞かれてったと思いますし
1:31:38	明石さんもおられますけど、ちょっと
1:31:40	塗装の部分品質チェックとして、
1:31:44	大丈夫だったかなというところがあるので、そこはすみませんもう1回持ち帰って、きちんと正確なところをチェックいただいて、
1:31:54	テンロク側の本テンロクの文章側の方なのか、図面なのかとか、まとめ資料の
1:32:02	ぶりなのかというですね。
1:32:03	ちょっとそこはファクトをチェックした上で、すいません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:07	どうするかというのをまた考え、
1:32:09	浅井と、
1:32:10	はい。
1:32:12	はい。
1:32:28	多田根井さん。
1:32:39	すいませんあんまり私
1:32:41	都築城野。
1:32:43	お作法っていうのはあれです
1:32:46	中子にもそういう本当になんか数文字ぐらいの違いとこっちゅうところ で、
1:32:51	我々、
1:32:55	ちょっとまずそのファクトなりをチェックして、それを踏まえて、
1:33:00	どういう対処方法があるのかという、
1:33:05	よろしいですかね。
1:33:06	Webの方から特に何かありますか。
1:33:10	すいません伴憲一電力本店からヤマモトです。こちら古謝河津 君にな ります。ありがとうございます。
1:33:17	いや、九州電力の明石でございますこちらからも特にございません。あ りがありがとうございます。
1:33:24	はい、じゃあよろしければいいので、ヒアリング終了したいと思いますお 疲れ様でした。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。